

2

Google マップと連携したページを手軽に作成する



山田祥寛

Gmap3はjQueryプラグインの一種で、Google マップの機能を簡単に呼び出すための機能を提供します。Google マップの標準APIである Google Maps APIの薄いラッパーのようなライブラリです。もちろん、Google Maps APIを直接に利用しても構いませんが、Gmap3を利用することで、jQueryのコードからよりシンプルなコードでGoogle マップを操作できます。

名 称	Gmap3
分 類	UI
URL	http://gmap3.net/
関連ファイル	jquery-1.9.0.js, gmap3.min.js



▲ Gmap3 で生成した地図

たとえばリスト⁰⁰²⁻⁰¹は、Gmap3でGoogle マップを表示する例です。Gmap3を利用するには、❶のようにGoogle マップを表示するための領域を用意しておきます。style属性でheight/widthプロパティを指定することで、この値がそのまま地図の高さ/幅となります。

あとは、この領域に対してgmap3メソッドを呼び出すだけです。構文は、以下のとおりです。

```
$(マップを表すセレクタ).gmap3(
    { パラメータ名: 値,... });
```

指定できるパラメータには表⁰⁰²⁻⁰¹のようなものがあります。これらのパラメータに対して、入れ子でGoogle Maps APIに渡すべきパラメータ

表002-01 ▶ Gmap3 プラグインの主なパラメータ

パラメータ	概要
map	Google マップの基本設定
circle	円を描画
rectangle	矩形を描画
polyline	折れ線を描画
polygon	多角形を描画
marker	マーカーを作成

タを指定することで、地図の表示を設定したり、マーカーや図形を追加していくのがGmap3の基本です。まず、最低限の地図を表示するには、mapパラメータを設定します。

mapパラメータには、入れ子でGoogle.maps.MapOptionオブジェクト*1のプロパティを指定します。サンプルでは最低限、中心座標(緯度、経度)とズーム率(0~21。大きくなるほど拡大)を設定しています。中心座標の緯度、経度にはHTML5のGeolocation API*2で取得した現在地の座標をセットします。

地図上に線分を描画する

続いて、地図上に線分を描画します(リスト⁰⁰²⁻⁰²。図⁰⁰²⁻⁰¹)。表⁰⁰²⁻⁰¹でも見たように、Gmap3では図形描画のためのcircle、polyline、polygon、rectangleといったパラメータを用意していますが、折れ線を描画するならば

* 1) Google Maps APIのオブジェクトです。詳細は「Google Maps Javascript API V3 Reference」(<https://developers.google.com/maps/documentation/javascript/reference>)を参照してください。
 * 2) 現在地の座標を取得するためのAPIです。

リスト002-01 ▶ gmap3_basic.html

```

<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="UTF-8" />
<title>Gmap3</title>
<script type="text/javascript"
  src="http://maps.google.com/maps/api/js?sensor=false"></script>
<script type="text/javascript"
  src="http://code.jquery.com/jquery-1.9.0.js"></script>
<script type="text/javascript" src="js/gmap3.min.js"></script>
<script type="text/javascript">
$(function(){
  // Geolocation APIを利用できるかをチェック
  if (navigator.geolocation) {
    // Geolocation APIで現在位置を取得
    navigator.geolocation.getCurrentPosition(
      function (pos) {
        // 現在位置を取得
        var current = [ pos.coords.latitude, pos.coords.longitude ];
        // Googleマップを表示
        $('#map').gmap3({
          map:{
            options: {
              center: current, // 地図の中心点(現在位置をセット)
              zoom: 10 // ズーム率
            }
          }
        });
      }
    );
  } else {
    alert('ブラウザがGeolocation APIに対応していません。');
  }
});
</script>
</head>
<body>
<!--Googleマップを表示するための領域を準備-->
<div id="map" style="width:500px;height:400px;"></div> ①
</body>
</html>

```

polylineを利用します。

polyline パラメータには、入れ子で google.maps.PolylineOptions オブジェクトのプロパティを指定します。サンプルで利用しているプロパティについては、コード内のコメントも合わせて参照してください。path パラメータには、[[緯度,経度],[...]] の配列形式で必要な数だけ折れ線の座標を指定します。

図 002-01 ▶ 地図の指定座標に線分を描画

